1998年9月1日発行（毎月1回1日発行）第17巻第9号　昭和57年12月6日第3種郵便物認可

マイコンBASICマガジン9月号別冊付録

DOS/V製作

自分でできる！手作りパソコン

•特別組立て企画•

ノートPC＆CPUクロックアップ



- 話題のインテル「セレロン」266MHzを400MHzで動かす！
- 「EP-61BXA-M」マザーボードでクロックアップに成功

- 日本一のインターネット・ショップ「TWO-TOP」が発売開始
- CPU交換もできるノート・パソコンを組立てる

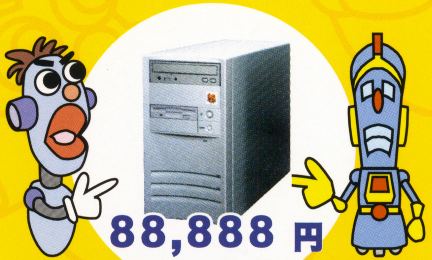
- 「PCライフ」のキットを利用
- 低予算で小気味よいスペックのパソコンで作る その1

パソコン初心者と女性、それにPC上級者のコミュニティ

「I love PC life」こんなコンピュータショップを待ってた！

http://www.lifestyleshop.com/pclife

インターネット上にあるバーチャルショップI Love PC Lifeは、パソコン心臓部に当たるマザーボードの世界最大シェアを持つPCチップス社（96年700万枚、97年1200万枚、98年2000万枚予定の出荷実績）の直営店です。現地生産、現地調達の強みを生かして全国どこのPCショップよりも低価格で安定供給を行っています。パソコン及び、マザーボード、VGA、サウンドカード、Dos/Vの周辺部品を一般ユーザーの皆様に提供しています。



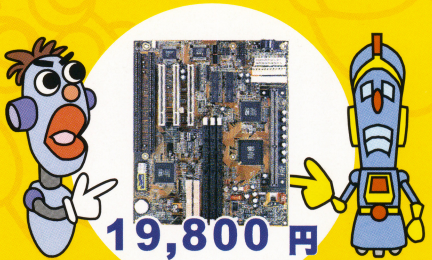
88,888 円

ラッキーPC　拡張性を考えた低価格機

CPU	233MHz
RAM	64MB EDO
HDD	2.1GB
CD-ROM	24倍速
FDD	2モード
ビデオ	ON BOARD (2D) NECPOWER VR (3D)
サウンド	ON BOARD (3D SOUND)
モデム	33.6K/Bps
ケース	ミニタワー

USB対応、キーボード・マウス付属

アイラブPCライフのショップブランド・コンピュータ「ラッキーPC for Win98」は、低価格ながらビデオ、サウンドのマルチメディア機能をそなえ、モデムもついています。メモリは64MBでWin98を使いこなす為のスペックは十分です。必要になれば、目的別に後から高機能を加えて行く事ができる、拡張性の高いコンピュータです。2台目のコンピュータにいかがでしょうか？



19,800 円

PCCHIPS / M747　100MHZ対応マザーボード

チップセット：	BX Pro（外部バス100MHz対応） SiS5600、SiS5595 2チップ構成
CPU :	233 MHz ～ 450 MHz Pentium-II CPU 266 MHz ～ 300 MHz Celeron CPU
メモリ：	DIMM スロット3基搭載 SDRAM / EDO/ FPM 総計384MBまで搭載可
SDRAM ClockSpeed :	100 MHz対応
VGA :	SiS6326 3D AGP Graphic Accerarator(On Board)
サウンド ：	3D Sound Pro (On Board)

100Mhz対応、ATXフォームカード・ケーブル付属

Pentium-II CPU 対応で外部バス100MHzマザーボードの決定版。サウンド、ビデオ機能をオンボードで搭載し、ビデオ機能はSiS6326 3D AGP グラフィックスアクセラレータを使用した本格派。フレームバッファも4MB実装。このボードは、8月末までアイラブPCライフのみの販売となります。ただいまATXフォームカードとSPDIF入力用ケーブルがもれなく付属しています。

豊富なDOS/V関連の商品構成

その他の商品構成としましては、アダプテック社製品、IO DATA社製品、そして各種のサプライ製品を扱っております。
当ショップでDOS/Vに関する必要なモノはすべてそろえることができます。電気街までの交通費と製品を購買する為の時間をお考え頂ければ、インターネットのVRショップがいかにお得かお解り頂けるでしょう。

ウェブマガジンとコミュニティ・スペース

アイラブPCライフでは、初心者や女性の方に解りやすいDOS/V関連のQ&A、用語解説記事や、PCの上級者の方にお役立ていただける様々な最新のコンピュータ周辺情報をご用意しています。また質問を含めた書き込みページ等のコミュニケーションスペースも充実しています。
ジャンクボードのクラブも楽しいですよ。

コンピュータは、高い？　いいえ、コンピュータは安いです。
コンピュータは買い換えが必要？　いいえ、ボードを差し換えればいいんです。
コンピュータを作るのは難しい？　いいえ、プラモデルと同じ感覚で作れます。

みんなで、新しいPCライフを始めましょう！

URL : http://www.lifestyleshop.com/pclife/
E-mail : pclife@lifestyleshop.com

アイラヴPCライフ 事務局　株式会社スカイ・シー
〒193-0844　東京都八王子市高尾町1580スエヒロビル5F

URL : http://www.pcchips.co.jp/
E-mail : asami@pcchips.co.jp

製品の問い合わせ　アジアネットワーク株式会社
〒106-0031　東京都港区西麻布2-25-23コモド西麻布13F

FAXでも注文を受け付けています。03-3398-3936まで価格表お問い合わせのFAXをお送り下さい。

ツートップがついに発売開始
ノート・パソコンキットを組み立てる

予算：148,000円〜

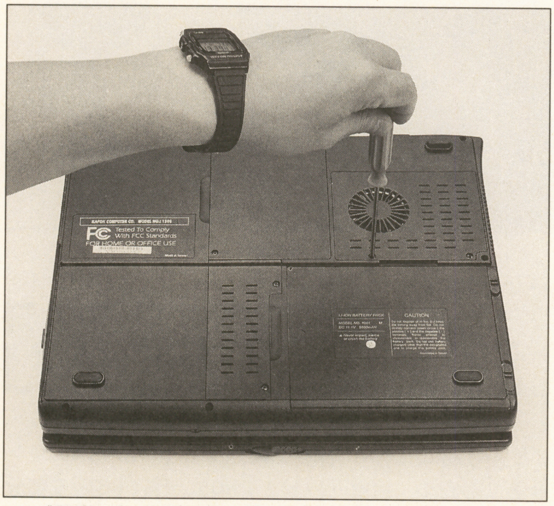
多田太郎

ノートパソコンは，人気が高く，最近の販売数は，デスクトップ型を超えています。スペースもとらず，性能もよいし，持ち運べる便利さがうけているのでしょう。

強いてウイークポイントあげるとすれば，CPUの差し替えなど，パワーアップができないことです。メモリの増設や，ハードディスクの交換はできますが，目まぐるしく進化するCPUの高性能化には，高度な技術を持った，特殊なお店にたのんでCPUを基板からはずしてもらうなど，特別な作業が必要でした。



《写真１》待望のCPU交換ができるノート・パソコンがでた

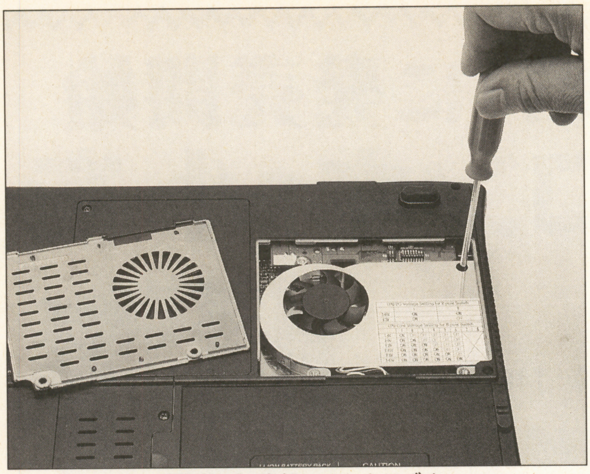


《写真２》まずはCPU取り付け場所のネジをはずす

ところが，おなじみのツートップから，Soket7用のCPUの差し替えができる，ノートパソコンのベアボーン・キットが発売されました。ユーザは，好みの容量のハードディスク・ドライブ（HDD）とメモリ，

《第１表》Kapok1100NotePCセットの製品構成

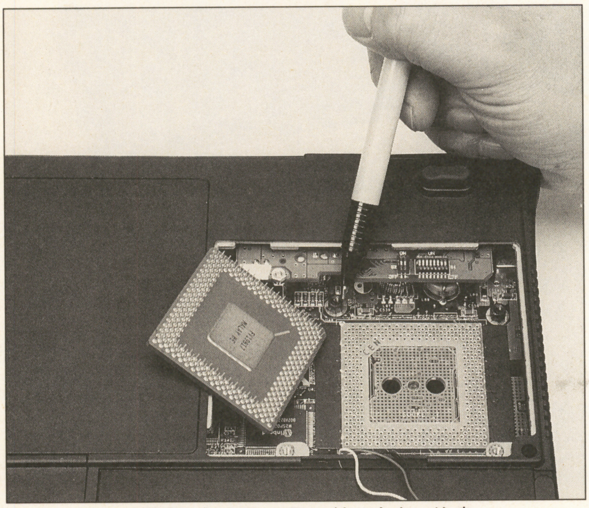
型　番	液晶ディスプレイ仕様	価格
Kapok1100SC6200	12.1インチSVGA	148,000円
Kapok1100XC6200	13.3インチXGA	178,000円
Kapok1100SC6240	12.1インチSVGA	152,000円
Kapok1100XC6240	13.3インチXGA	182,000円



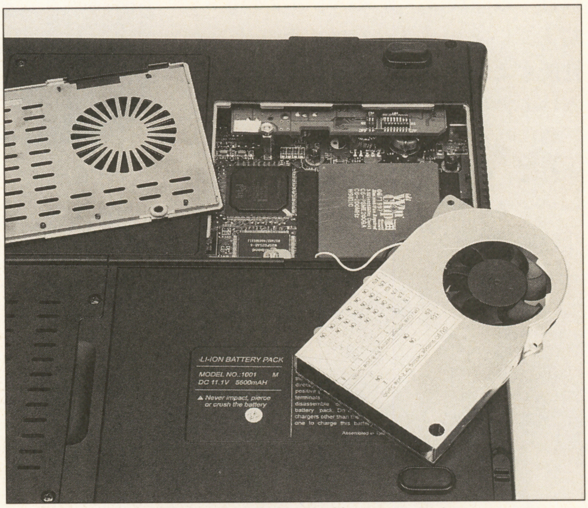
《写真３》冷却ファンをはずす



《写真４》今回使用した無料?!のC6-200MHz



《写真５》CPUの取り付け方向に注意



《写真６》CPUを装着したようす

そしてCPUを選んで装着できる，画期的な製品です。

さっそくDOS/Vノート・パソコン製作のようすをお伝えします。

今ならCPUが無料になるキャンペーン中

ツートップが発売するノート・パソコンのキットは「Kapok 1100 NotePCセット」というシリーズで，**第１表**のような製品構成になっています。

本誌の裏表紙に載っている広告のクーポンを使えば，IDT社のMMXテクノロジーPentium互換CPUのC6 200MHzが無料で，同240MHzは4,000円で入手できます。

C6は，インテルのPentiumの同性能製品と比較するとはるかに価格も安く，人気のあるCPUです。

今回はせっかくですから，無料のC6 200MHzを使わせていただきました。

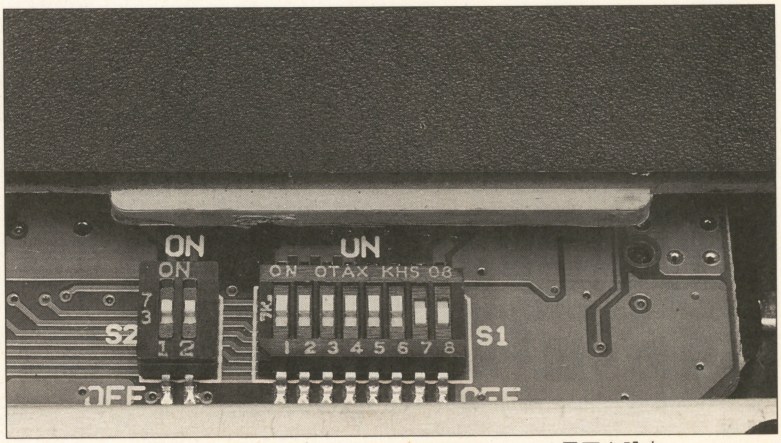
キットにはショルダー・バックもついていて，ビックリしました（**写真１**）。

本体の重さは3kg強と，けっこうあるほうですが，ガッチリしたつくりです。

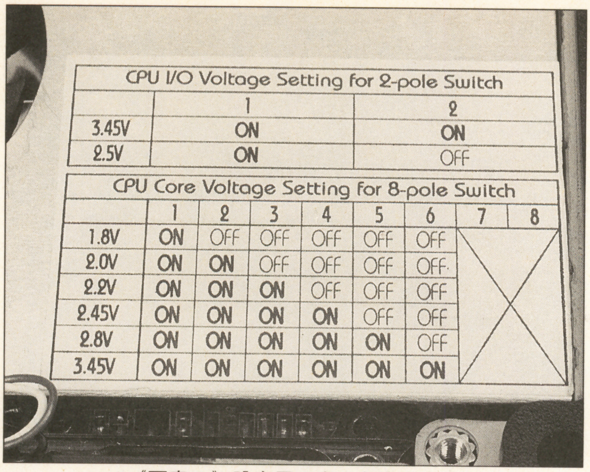
CPUを取り付ける

まずはCPUを装着します。

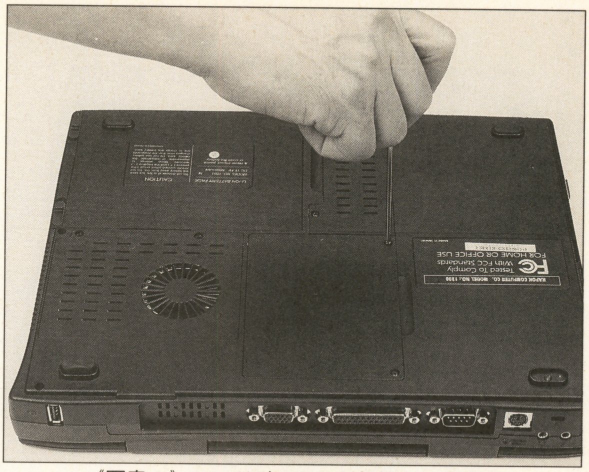
本体を裏返して，丸いクーリング・ファン用の穴があいている部分



《写真７》ディップ・スイッチでCPUにかける電圧を設定



《写真８》設定用の表を参考にする



《写真９》ハードディスクが収納される場所



《写真10》ハードディスクを取り付け金具にネジ止めする

のネジ２本を，プラス・ドライバーではずし（**写真２**），さらに金属製のクーリング・ファンをはずします。ここは4本のネジで止められています（**写真3**）。

穴が奥にあるため，ネジを取り出すにはピンセットが必要です。先端に軽い磁力を持ったドライバーを使うことをおすすめします。

ではいよいよ主役のC6（**写真４**）を装着します。ソケットには，デスクトップ・パソコンのマザーボードのような，脱着用のレバーはついていません。１本だけピンが欠けているところを目印にして（**写真５**），ていねいに穴とCPUのピンを合わせて，挿入してください。

ソケットからCPUが浮いている状態だと，動作不良の原因になります。ていねいに，最後まで押し込みます。

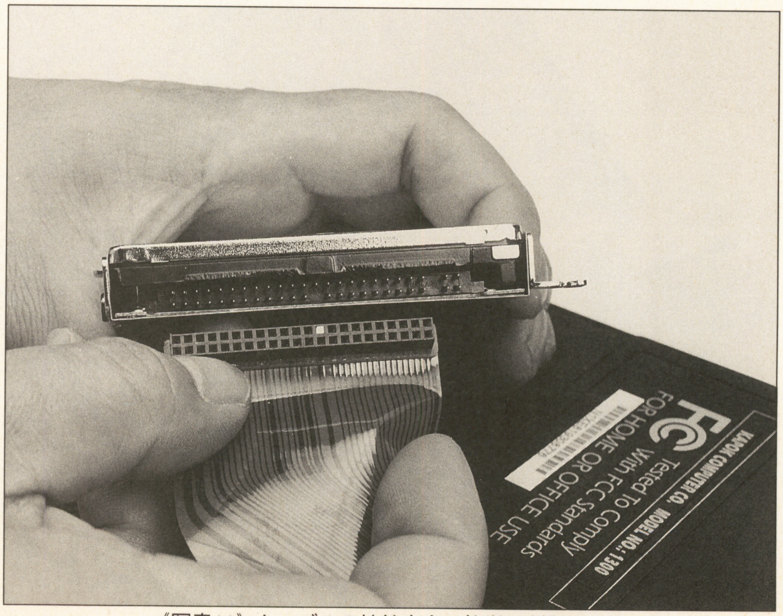
はじめての人には，力の加減がわかりにくいかもしれませんが，「ていねいに」というのは，急激な力を加えずに，親指の腹などで，じんわりと押し込むイメージです。CPUとソケットとの隙間を観察しながら，密着するまで押してください。

CPUの装着ができたら（**写真６**），２極と８極のディップ・スイッチを設定します（**写真７**）。

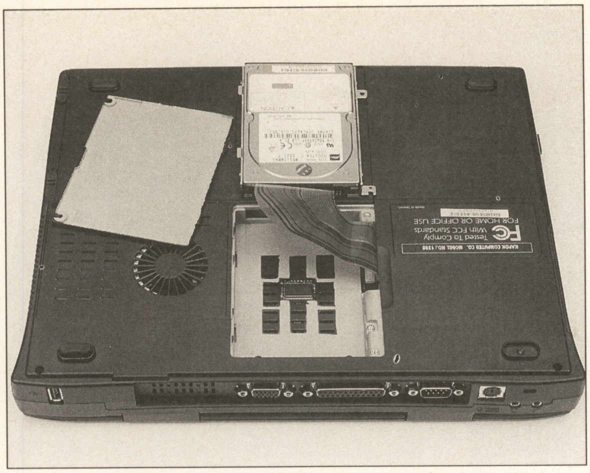
クーリング・ファンの上部や，添付されているマニュアルに，電圧の設定方法が載っています。２極のディップ・スイッチでは２電源タイプのMMX PentiumやAMDのK6などで使いますが，C6は１電源タイプなので設定しても意味がないので無視します。８極のディップ・スイッチは「3.45V」にするため，１～６までをオンにします。

写真８は冷却ファンのところにはってある設定表です。

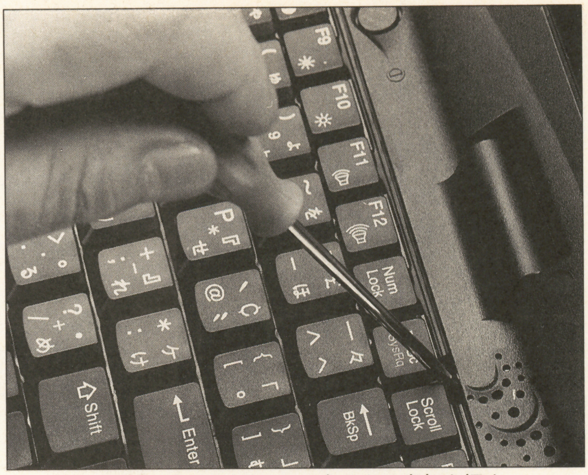
CPUには**写真４**のように「3.52V」と表記されていますが，もっとも近い電圧に設定しておけばよいので



《写真11》ケーブルの接続方向は簡単に判別できる



《写真12》接続が終了したハードディスク



《写真13》キーボードの奥にある突起を押す

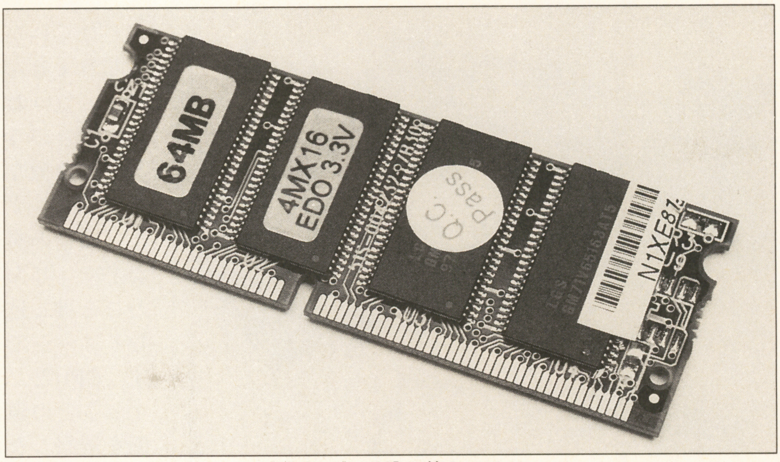
す。

ここまでできたら，CPUの装着は終了です。キーボードの下にある10極のディップ・スイッチの設定もしなくてはいけませんが，とりあえずこんどはハードディスクをとりつけましょう。

ハードディスクの取り付けかた

ハードディスクは底面後部中央の二つのネジをはずしたところに取り付けます（**写真9**）。

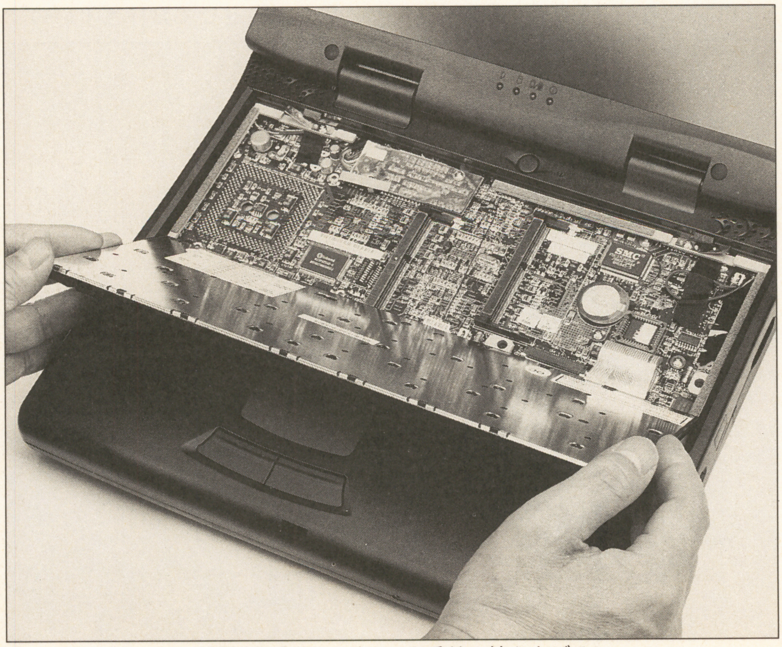
取り付けるハードディスクは，IDE接続用で，2.5インチのものです。容量は各自の予算しだいです。



《写真15》増設に使うメモリ

まず，**写真10**のように，取り付け用の金具にネジ止めします。馬鹿力をだしてしめつけすぎないようにするのが注意点です。そしてケーブルをつなぎます。**写真11**でもわかるように，コネクタにはピンが1本足りないところがあります。そこを目印にしてしっかり差し込みましょう。右端に見える4本のピンは使いません。

ハードディスクの裏表は，**写真12**を参考にしてください。ハードディスクをしっかりネジ止めして，ふたをかぶせたら，底面での作業は終了です。

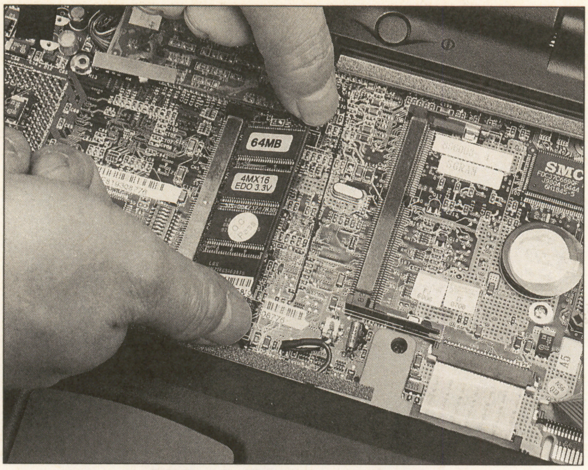


《写真14》キーボードを手前に持ち上げる

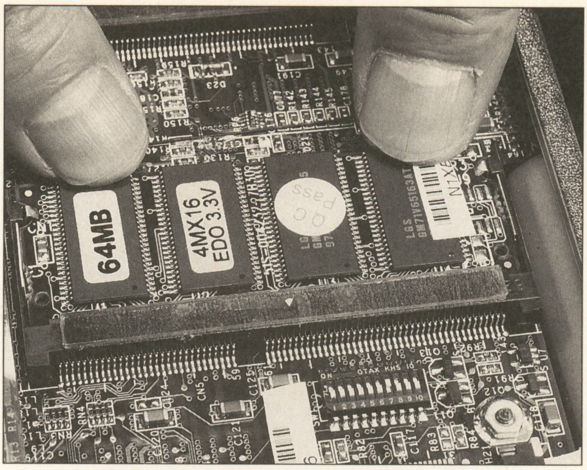
キーボード下での作業開始

残る作業は，メモリの装着と，CPUクロックの設定です。これらは，キーボードの下で作業します。

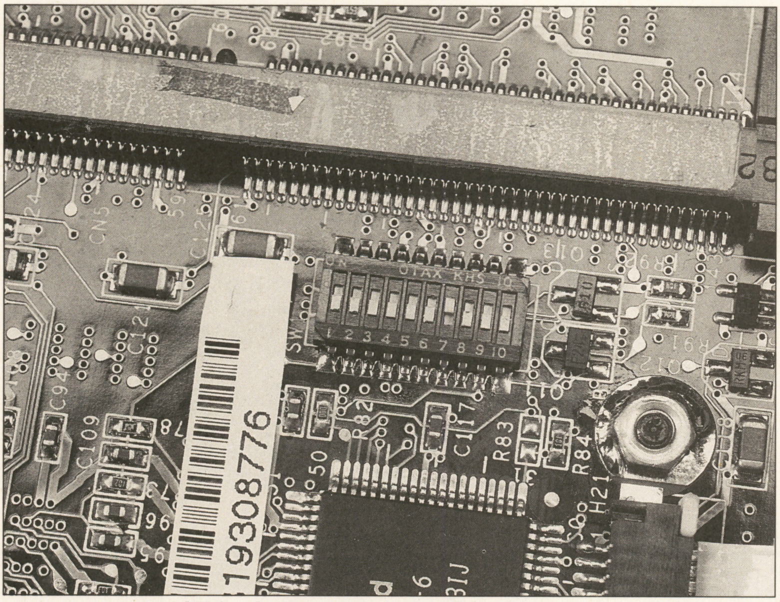
キーボードの一番奥のファンクション・キーと，ケースの隙間をよく見ると，突起物が二つでています。



《写真16》最初は斜めに差し込む



《写真17》左右の留め金がかかるまで押す



《写真18》CPUのクロックを設定するスイッチ

これを押してやると，キーボードが手前に開くようになります。

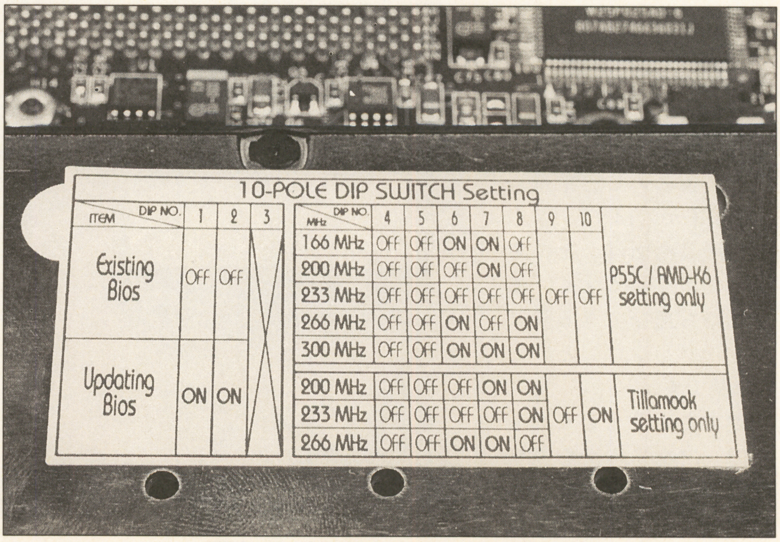
写真13と**写真14**がそのようすです。

とても簡単ですが，実にきっちりと開け閉めできる機構で，感心しました。

キーボード下での作業開始

まずはRAMから増設します。ソケットはノート・パソコン用のSO-DIMMスロットになっているので，適合しているEDOタイプのRAMボードを用意してください。

RAM ボードには**写真15**のように，切り欠きがありますから，スロットの突起にあわせるようにさしこみます。



《写真19》設定表はキーボードの裏にある

注意深く斜めにさしこんで（**写真16**），押さえつけると，左右の留め金がかかって固定されます（**写真17**）。スロットの部分をよく観察すれば，はじめての人でもしくみがわかるはずです。

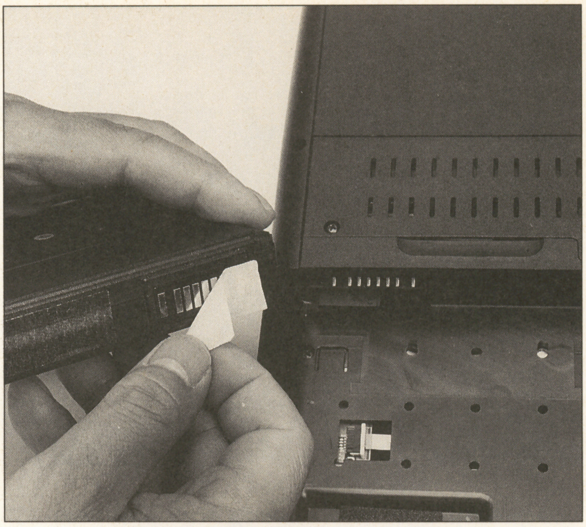
つぎに，CPUのクロック設定を10極のディップ・スイッチ（**写真18**）で行います。キーボードの裏に設定用の表があります（**写真19**）。上の表を参考に，7番のスイッチだけをオンにして，200MHzに合わせました。

Windowsのインストールも楽々できた

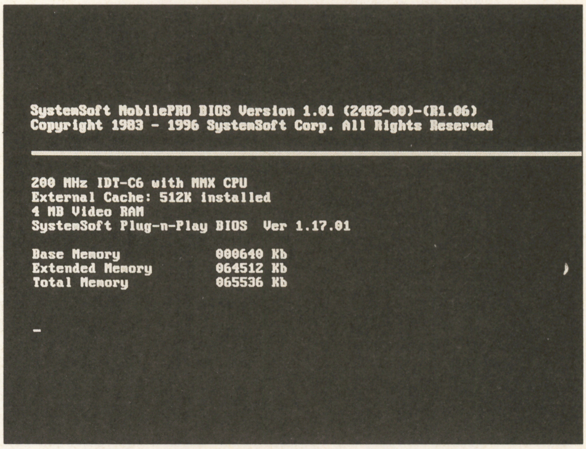
これで作業は終了。喜び勇んで電源スイッチを入れたのですが，うんともすんともいいません。ふと気が



《写真20》バッテリーをはずす



《写真21》保護用絶縁シールをはがす



《写真22》みごとにノート・パソコンが動いた

ついて，電源用のバッテリをはずしてみたところ，絶縁用の保護テープが貼り付けてありました（**写真20, 21**）。これをはがしてから，元に戻して，スイッチ・オン！

みごとに動き始めました。**写真22**のようにCPUも認識して，きちんと表示されました。

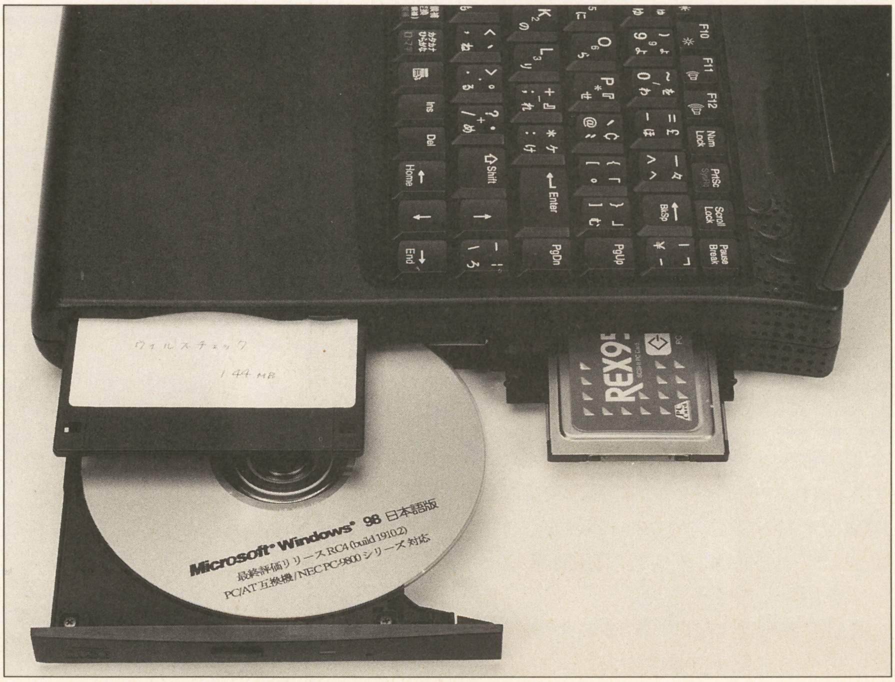
このパソコンには，3.5インチのFDD，CD-ROMドライブ，カード・スロットが装備されています（**写真23**）。Windows95をインストールしたところ，CD-ROMも確実に認識してくれて，とてもスムーズに作業が進みました。

ついでにWindows98にもアップグレードしてみました。

昨今のB5サイズの超薄型パソコンとくらべたら，確かに大きいし，重量もありますが，13.3インチの大型液晶画面は，とても使いやすく見やすく，まさに持ち運びできるデスクトップパソコンといった風格です。

頑丈さもそうとうなもので，マウスのかわりに指先のタッチでカーソルを動かす，グライドポイントのそばにあるボタンは，けっこう力を入れないと「カチッ」とクリックできません。

指が疲れるので，もっぱらグライドポイントをたたくようにするクリック方法をとるようになってしまいました。



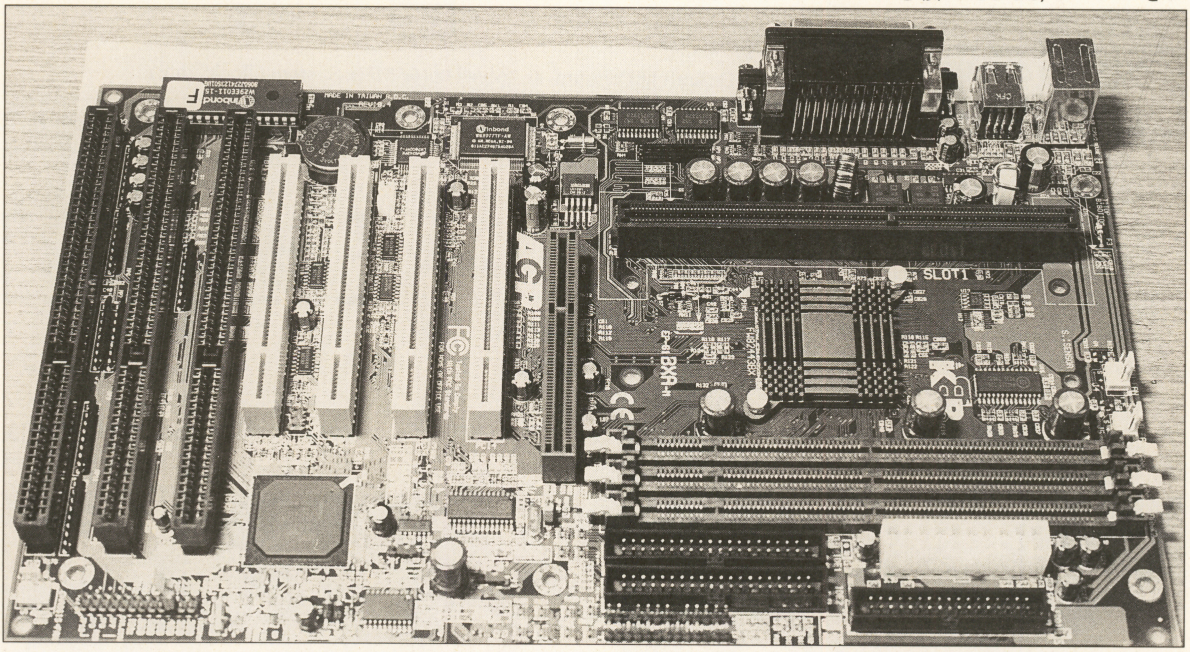
《写真23》まさにフル装備のノート・パソコン

高速マザーボード「EP-61BXA-M」を使用

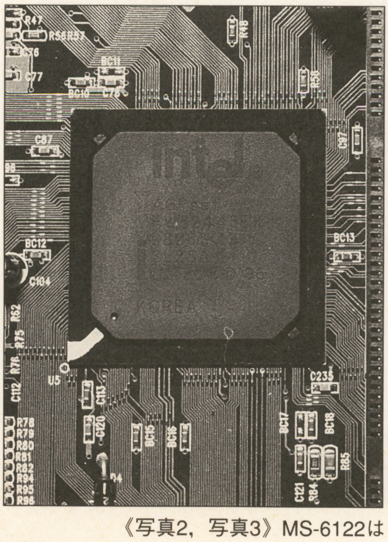
セレロンCPU「266MHz」を「400MHz」にクロックアップ

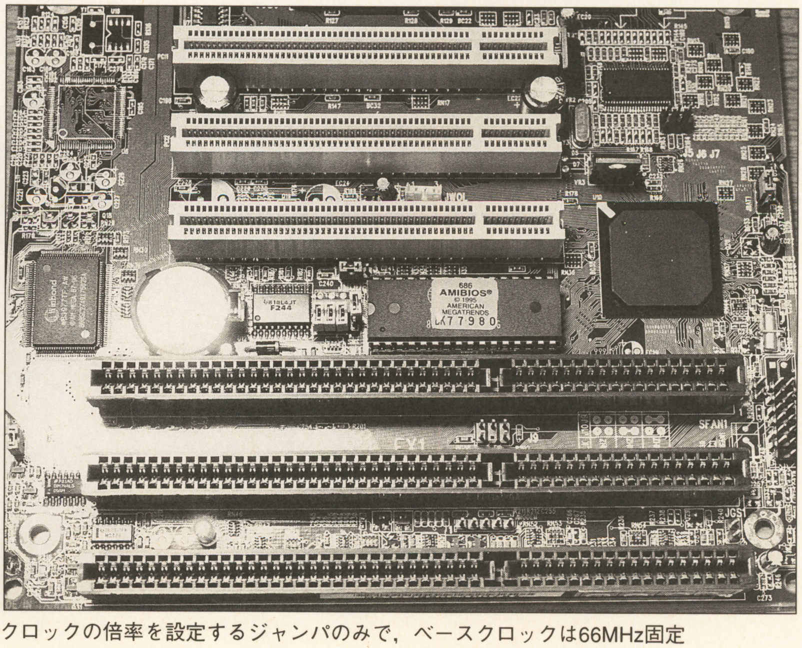
Silpheed☆

300MHzタイプも発売されて，AMDの「K6-2」と並んで人気の高いセレロンCPU。マザーボードのクロック周波数の設定をアップするだけで，高速で動いてしまうものが多いのもその理由かもしれません。さっそく編集部でも，先月組み立てたピーシーショップピーテンの266MHzのセレロンを積んだDOS/Vマシンをク

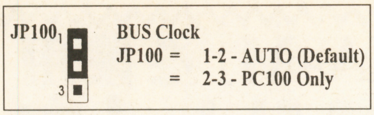


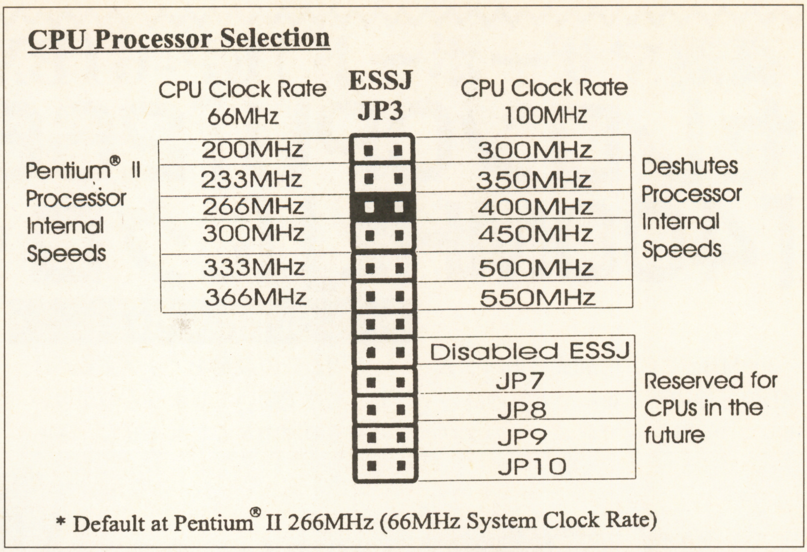
《写真1》ベースクロック100MHz設定に対応したマザーボード「EP-61BXA-M」





《写真2，写真3》MS-6122はクロックの倍率を設定するジャンパのみで，ベースクロックは66MHz固定





《写真4, 写真5》EP-61XA-Mは，ベースクロックと倍率をそれぞれ設定できる

ロックアップしてみました。

最初に注意してほしいことは，今回の記事で行っていることはメーカーや販売店の保証対象外だということです。もし，クロックアップして何か問題が発生したり，クロックアップできなくても，編集部では責任を負いかねます。あくまでも個人の責任で行ってください。

クロックの4倍で動くセレロン

先月使用したMS-6122から，EPoXのEP-61BXA-M(**写真1**)というマザーボードに交換します。これは，ベースクロックを66MHzと100MHzの両方に設定できるマザーボードです。

まず最初に，セレロンの簡単な仕組みから説明します。

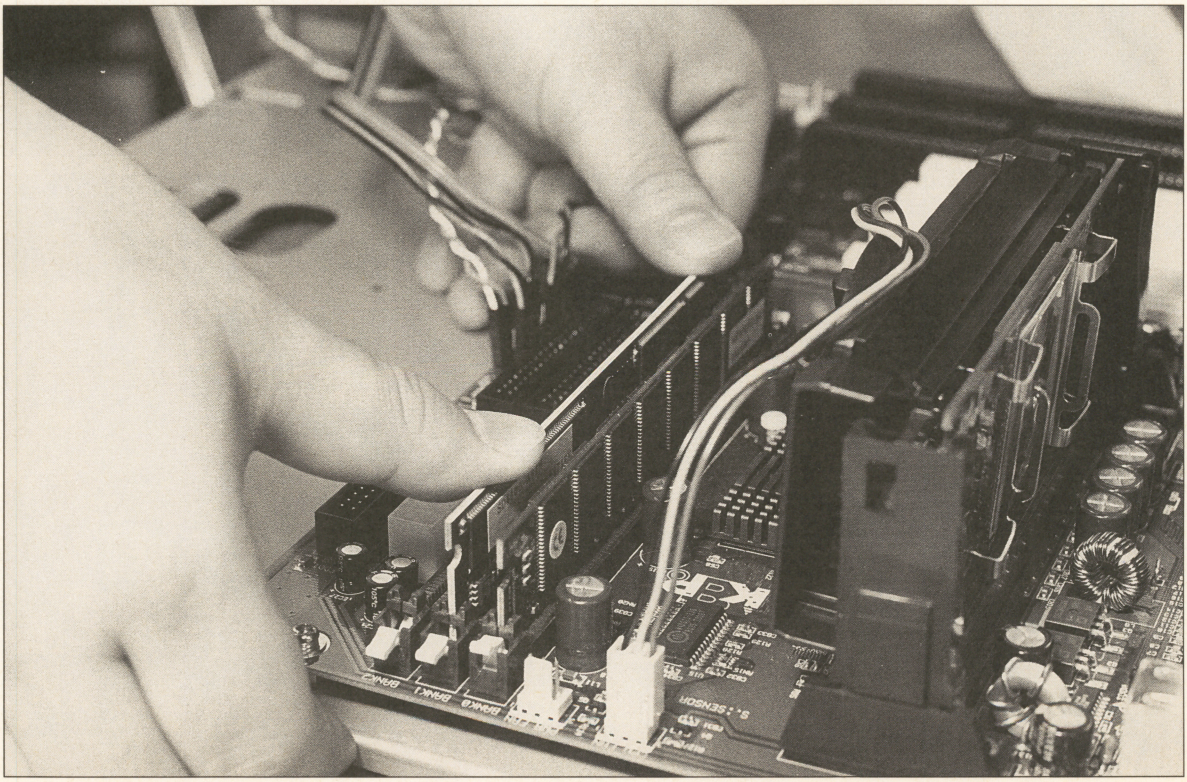
セレロンは4倍速の回路しか積んでいません。つまり，ベースクロックの4倍のクロックでしか動作しないということになります。ほかのCPUでは倍率回路を複数種積むことによってさまざまなクロックで動作します。

MS-6122はベースクロックが66MHzにしか設定できないため，66×4=264MHz，よって約266MHzで動作します（**写真2**，**写真3**）。

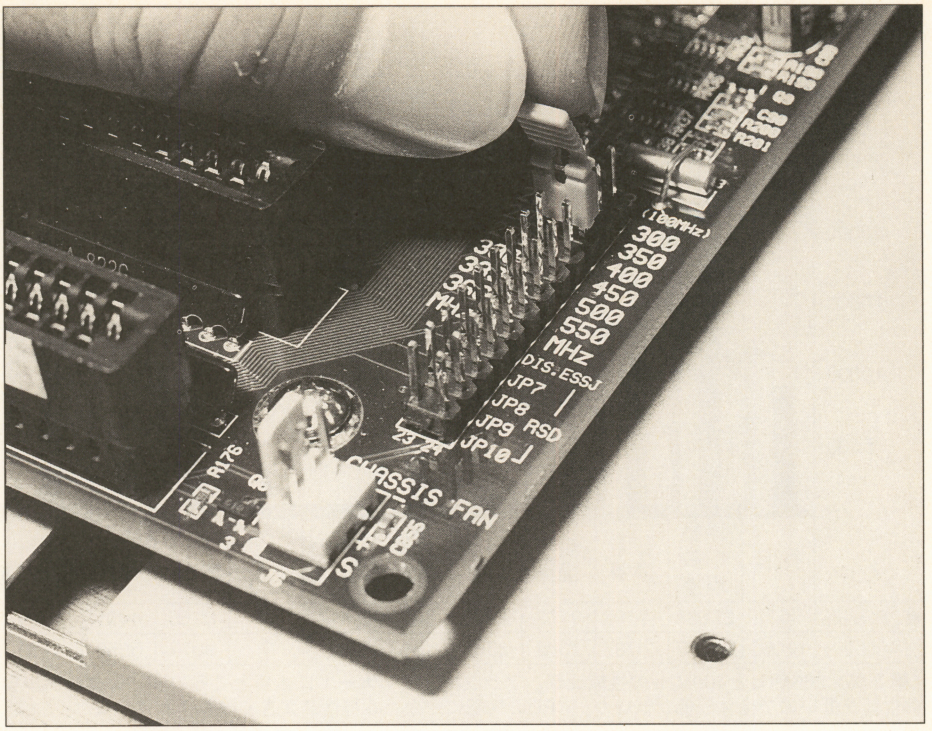
EP-61BXA-Mを使ってベースクロックを100MHzに設定すると，100×4=400MHzでセレロンは動くことになります（**写真4**，**写真5**）。今回使用した部品は**第1表**の通りです。今回はメモリも増設してみます(**写真6**)。

組み立てたのと逆の手順で分解する

では，さっそくマザーボードを交換しましょう。先月と同じようにケースの前面パネルを外し，側面の2枚のパネルのねじを外して取ります。そして，マザーボードからE-ID



《写真6》64MBのDIMMメモリを増設する



《写真7》クロックの設定はマザーボード上に刻印があるのでわかりやすい

Eケーブル２本，FDDケーブルを外します。

強い力で勢いよく引っ張るとケーブルを痛める可能性がありますので，ていねいに取り外してください。ケースのLEDなどのケーブルもこのときに外すといいでしょう。ビデオカードとサウンドカードも外しておいてください。

そして，正面左の，マザーボードの乗っているパネルのレバーを引いて，パネルを横に倒します。このとき，電源ケーブルを外すのを忘れないでください。

次に，マザーボードからセレロンとメモリを外し，マザーボードをパネルから外します。メモリとマザーボードは買ったときの袋にていねいにしまっておきましょう。

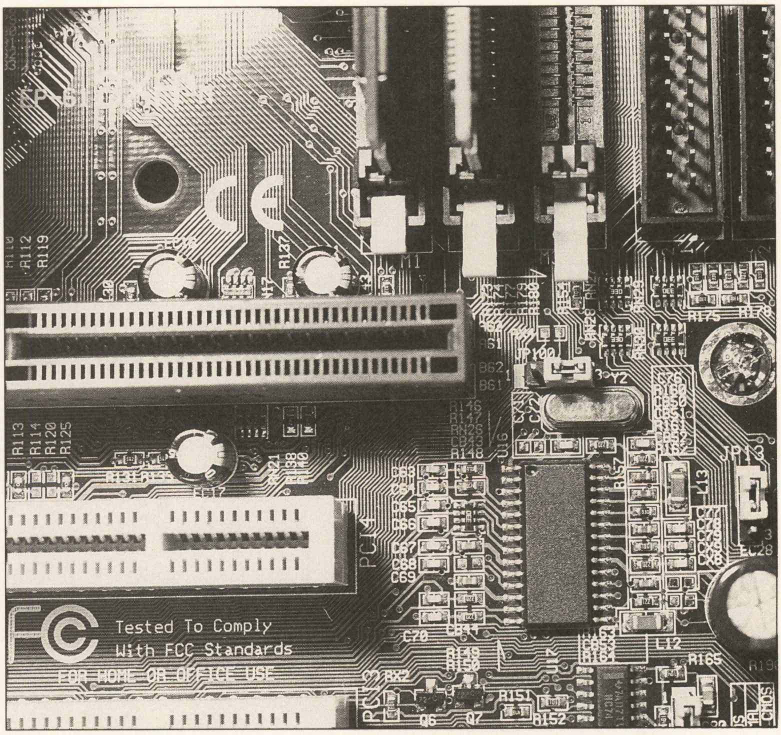
EP-61BXA-Mのジャンパ設定

今回は100MHzの４倍の400MHzで動作させるので，まず，マザーボード上のクロックのジャンパ・ピンを400MHzに設定します（**写真７**）。そして，AGPバスの近くにあるJP100というジャンパ・ピンを，強制的にPC100にする方に設定します（**写真8**）。他のジャンパはいじる必要はありません。

組み立て手順を思い出しながら組み直す

パネルにEP-61BXA-Mを取り付けます。真鍮のスペーサーの位置はMS-6122とまったく同じでいいので，そのまま上に乗せて，位置を合わせてねじで取り付けます（**写真9**）。そして，DIMMメモリとセレロンをしっかり差し込み，CPUクーラーの電源ケーブルを取り付けます。クロックアップするとCPUはかなりの熱を持つはずので，CPUの冷却は非常に重要です。

マザーボードを取り付け終わったら，元の通りに組み直します。E-IDEケーブル，FDDケーブル，LED



《写真8》AGPバスのすぐ近くにPC100に設定するジャンパがある

《第１表》今回使ったパーツ。ピーシーショップピーテンでそろえた

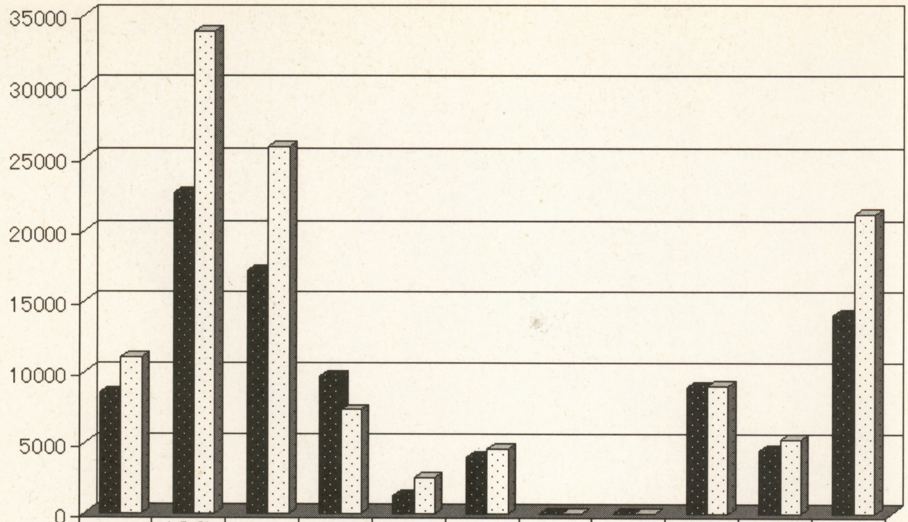
パーツ名	メーカー	型　番
マザーボード	EPoX	EP-61BXA-M
メモリ	I･O DATA	SD-4100-A64M

などのケーブルを接続し，パネルを斜めにして電源ケーブルをつけ，取り外したカード類を戻してください。

動作確認をしよう

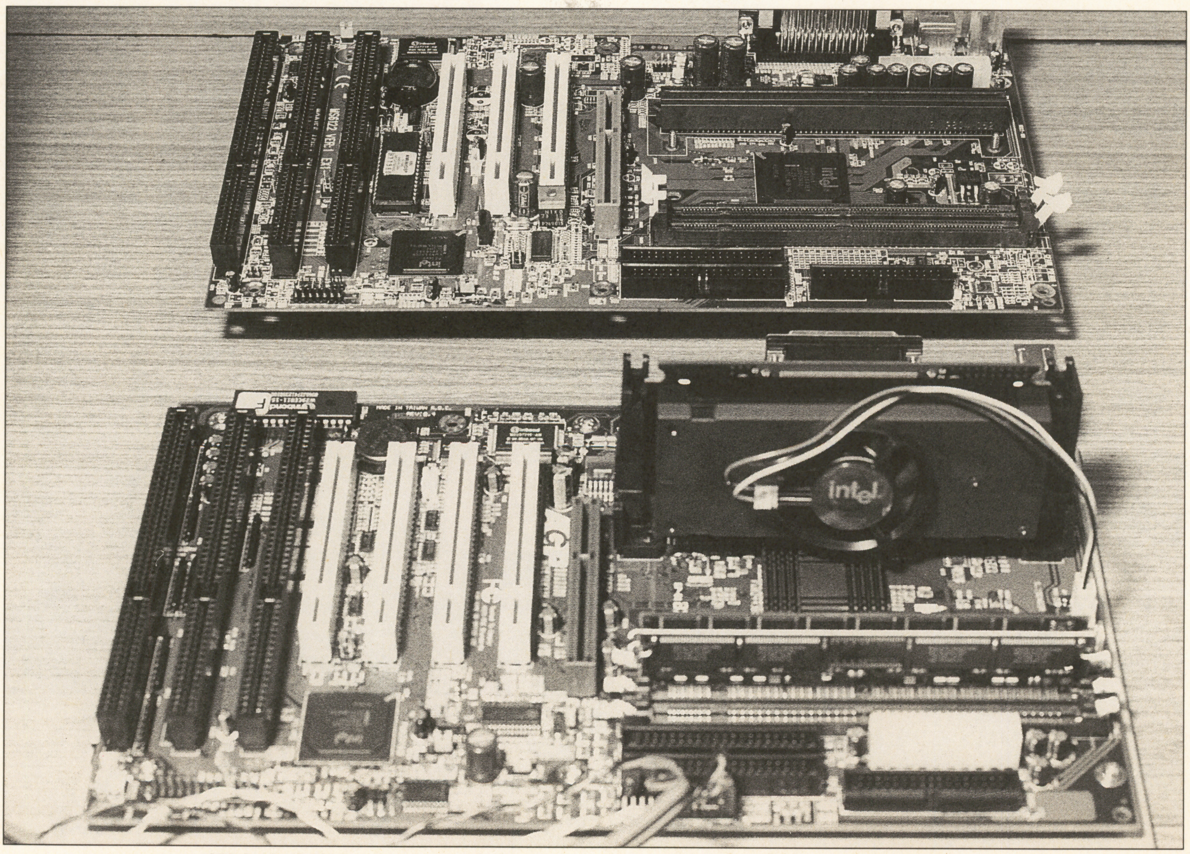
仮組みが済んだら，動作確認をします。ディスプレイ，キーボード，マウスを接続して電源を入れます。と，何の問題もなくWindowsが起動しました……と思ったら，「不明なデバイス……」と表示され，次々にデバイスを発見していきます。これは，マザーボードが変わったためにWindowsがハード構成をもう一度確認しに行っているのです。最初に画面のドライバで一度再起動がかかり，次にHDDやCOMポートなどを発見していきます。

ここで問題が発生しました。画面が青くなって止まってしまったのです。再起動をかけても症状は変わりません。ここで，画面をよく注目し



	総合	浮動小数点演	整数演算	矩形描画	円描画	文字表示	スクロール	ダイレクトドロウ	HDD読出し	HDD書込み	メモリ読書き
■ 266MHz	8531	22587	17193	9737	1264	3971	41	4	8965	4491	14099
□ 400MHz	11062	33869	25787	7342	2565	4563	41	7	9077	5258	21169

《第2表》266MHzと400MHzの性能比較。グラフィック・カードによるところの多いスクロールなどの性能が低いので全体評価が低いが，CPUの性能にかかわる特性は大きく改善されている

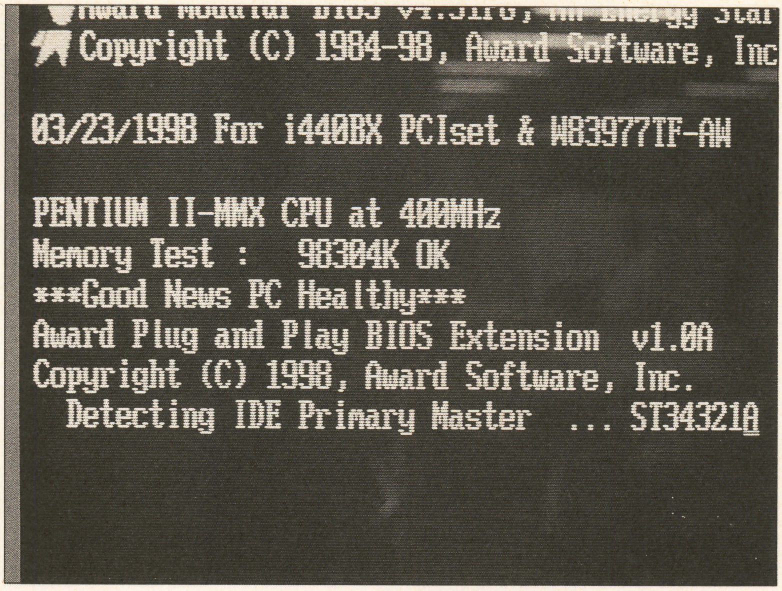


《写真9》真鍮のスペーサーの位置が同じなので，ねじを外してつけかえるだけでOK

てみると，「PCI Multimedia Device」と表示された瞬間に止まることがわかりましたので，いったん電源を落としてPCI接続のサウンドカードを外して再起動……今度はきちんとWindowsが起動しました。

ですが，このままではサウンドカードが使えないので，電源を落として念のためクロックを266MHzまで落とし，サウンドカードを差して起動し直します。[コントロールパネル]-[システム]-[デバイスマネージャ]で見てみると，「不明なデバイス」にサウンドカードらしきものが認識されていました。ドライバがきちんとインストールされていなかったようなので，「ドライバ更新」でサウンドカードのドライバのCD-ROMを入れてインストール，また再起動。どうやら音は鳴るようです。

400MHzに再挑戦ということで電源を落としてジャンパを400MHzに戻し起動……問題なしです。ケースを元通りに組み立てて，セレロンを400MHzにクロックアップしたマシンの完成です(**写真10**)。



《写真10》立ち上げ画面で，はっきりとクロックアップが表示される

どれだけ速くなった？

さっそくベンチマークを取ってみます。今回もHDBENCH Ver.2.61を使いました（**第２表**）。CPUの能力とディスクアクセスは軒並みアップし，画面描画も円とDirectDrawが上がっています。また，メモリアクセスも格段に向上しています。

実際にソフトを動かしてみると，PhotoshopやIllustratorなどの画像作成ソフトで，今までちょっと重かった処理が軽々動きます。この調子ですと，ゲームも相当のスピードアップが期待できますね。

心配した熱暴走もなく，半日以上つけっぱなしで作業しましたが非常に安定しています。

メモリ購入に注意！

最近のマザーボードはメモリのスピードを見て，自動的にメモリのアクセス速度を調整してくれます。ですが，本来の性能（クロックアップしているので「本来」ではないですが）を出すという意味でも，ベースクロックを100MHzに設定するのならば2クロック動作のメモリを購入したいところです。このとき注意しなければいけないのは，「PC100対応」と「2クロック動作」は同じことを言っているのではないということです。実際，今回使用したメモリ（**写真11**）も動作は「4クロック」になっています。メーカー品のメモリは箱にわかりやすく書いてあるので，心配ならばお店の人に聞いたり，メーカー品のメモリを選び，箱の表示をよく確かめてから買うといいでしょう。



《写真11》箱の表示をよく確かめてからメモリを購入しよう

インターネット・ショップ「PCライフ」のキットを利用

低予算で小気味よいスペックのDOS/Vパソコンを作る！

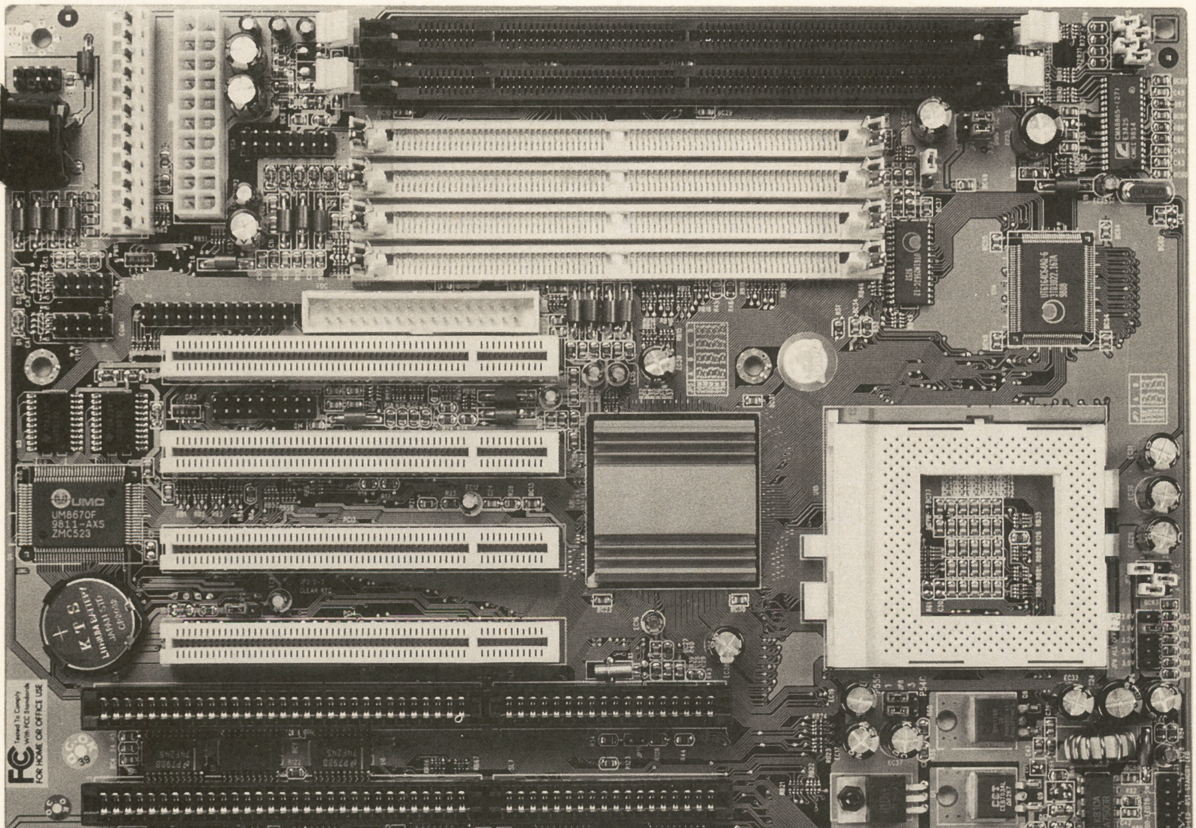
その1

DOS/Vパソコンは求めるスペックによって値段が大きく変わってきます。ハイスペックを望めばきりがありませんし，あまり低価格を追求すると今のソフトを動かすには速度的に厳しくなります。そこで，PCライフのセットを使って，低価格でかつそこそこ使えるという自作DOS/Vパソコンを作ってみましょう。

マザーボード：PCCHIP M571（写真1）

AT/ATX規格のSocket7のマザーボードです。VGAとサウンドがマザーボード上に搭載されているので，ビデオカードとサウンドカードを買わなくても大丈夫です。しかも，それらにスロットを消費されないですみます。また，メモリはSIMMとEDO DIMMの両方が使えます。スロットは，PCI×3，ISA×3，PCI/ISA共用×1という，標準的な構成です。

このマザーボードの面白いところは，AT電源とATX電源の両方が使えることで，ATXのコネクタ・パネル



《写真1》



《写真2》

はオプションになっています。また，サウンド部分はデジタル入力も使えるようになっています。最近のサウンドカードでも標準でデジタル入力をサポートしているものはなかなかありません。

また，Win dows98で標準サポートになったUSB端子も，オプションのATXのコネクタパネルをつけることによって使えるようになります。

CPU：Cyrix（IBM）6x86MX PR233（写真2）

66MHzの３倍速，電圧2.9Vで動作するPentium互換CPUで，PRとはPentiumRateの略で，インテルのPentiumでいうとどれくらいのスピードで動作するかという表記のしかたをしています。ですから，CPUには233 MHzと書いてありますが，実際は66M Hzの３倍の200MHzで動作します。これは電圧とともに，マザーボードの設定のときに間違えやすいので注意が必要です。

CPUクーラーも付属しているので，冷却に関しても心配ありませんね。

メモリ：EDO DIMM 64MB（写真3）

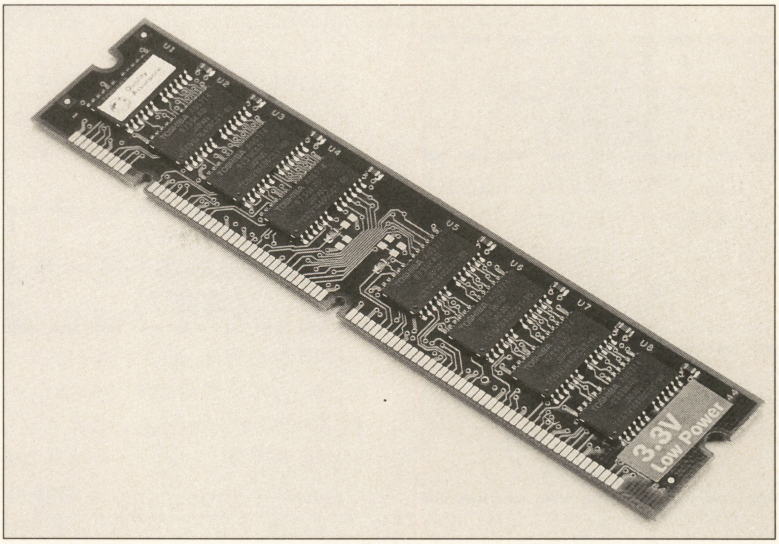
Windows98でも，アプリケーションを快適に動かすにはメモリを多く搭載するのが効果的です。このセットでは最初からメモリは64MBありますので，快適にWindows98を動かすことができます。

低予算でマシンを組む場合，メモリの容量は重要です。CPUが速くてもメモリが少なければWindowsがハードディスクにスワップに行ってしまい，そのぶんパフォーマンスは大幅に低下してしまいます。メモリをたくさん搭載しておけばスワップの回数が少なくなり，CPUがちょっと遅くても全体的な動作スピードは格段に上がります。特に，大きなアプリケーションを使う場合や，複数のそれを同時に使う場合にはメモリをたくさん積むようにしましょう。

また，このマシンではビデオメモリをメインメモリから確保するので，画面を広くしたり色数を増やすためにもメインメモリを多くする必要があります。

CD-ROM：ミツミ24倍速（E-IDE）（写真4）

E-IDE接続のCD-ROMです。32倍



《写真3》



《写真4》

速が主流の今ではちょっと見劣りするかもしれませんが，実際は24倍速でも非常に快適に使えます。これは，24倍，32倍という数字はあくまでも「最大」の数字なので，平均すると12倍くらいの速度で動くことになるからです。ミツミ製ですので，Windows98での動作も心配ありません。



《写真5》

FDD：ミツミ2モード（写真5）

DOS/Vでは標準的な，720KBと1.44MBの2モードFDDです。DOS/Vの普及によって急速に1.44MBフォーマットが広がったので，普通に使うぶんにはこれで問題ないでしょう。

ハードディスク：Seagate MEDALIST 2.1GB（E-IDE）（写真6）

E-IDE接続の2.1GBのハードディスクです。それほど大きなデータなどを扱わない場合はこれだけあれば十分です。

キーボード：109日本語キーボード（写真7）

標準的な日本語キーボードで，Windowsキーも標準でついています。PS/2コネクタ（小さいコネクタ）とATコネクタ（大きいコネクタ）のどちらのマザーボードにも接続可能な変換ケーブルが付属しています。



《写真6》

マウス：3ボタン　シリアルマウス（写真8）

COMポート（RS-232C）に接続するシリアルマウスで，付属のドライバで三つのボタンを使うことができます。

ケース：ATミニタワーケース（200W）（写真9）

5インチベイ×2，3.5インチベイ×3（一つはシャドウベイ），電源200Wのミニタワー型ケースです。背が低くコンパクトで，置き場所にも困りません。

＊

これらの部品を使って，来月は実際に組み立ててみます。

PCライフはホームページ上のパソコン・ショップ

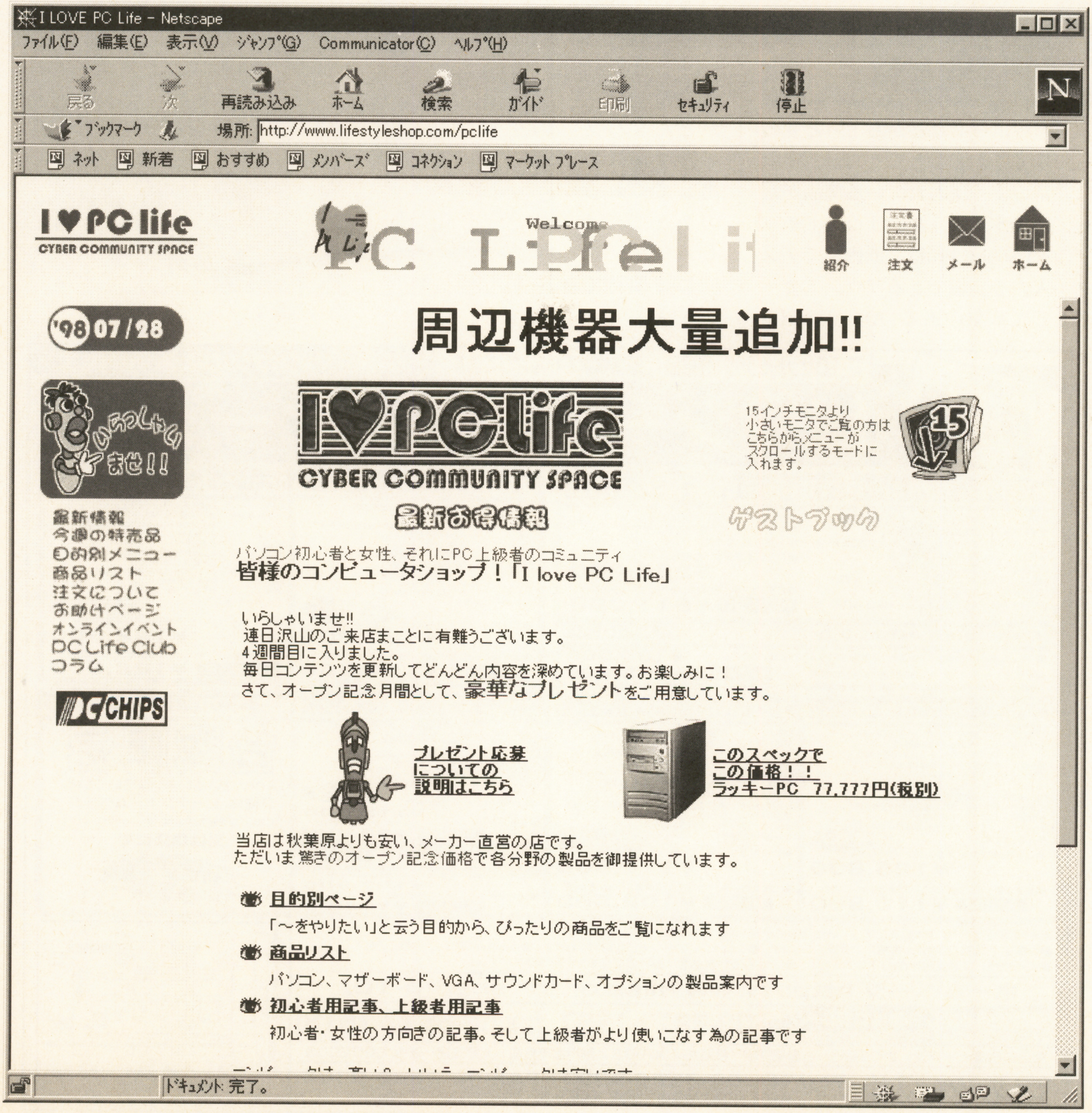
PCライフでは，ホームページ上でパソコンを販売しています。マザーボード・メーカーのPCデップス社の直営店で，現地生産・現地調達の強みを生かした低価格での

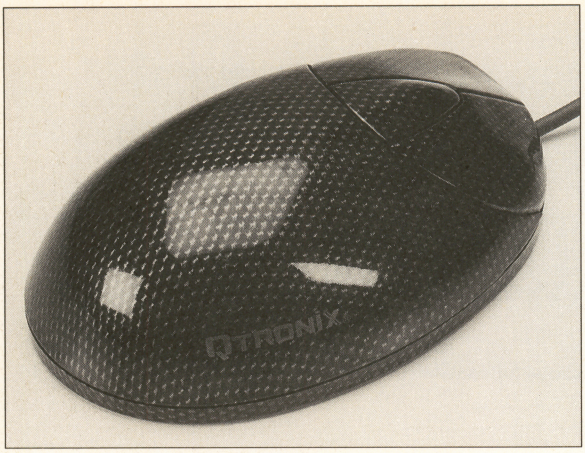


《写真7》

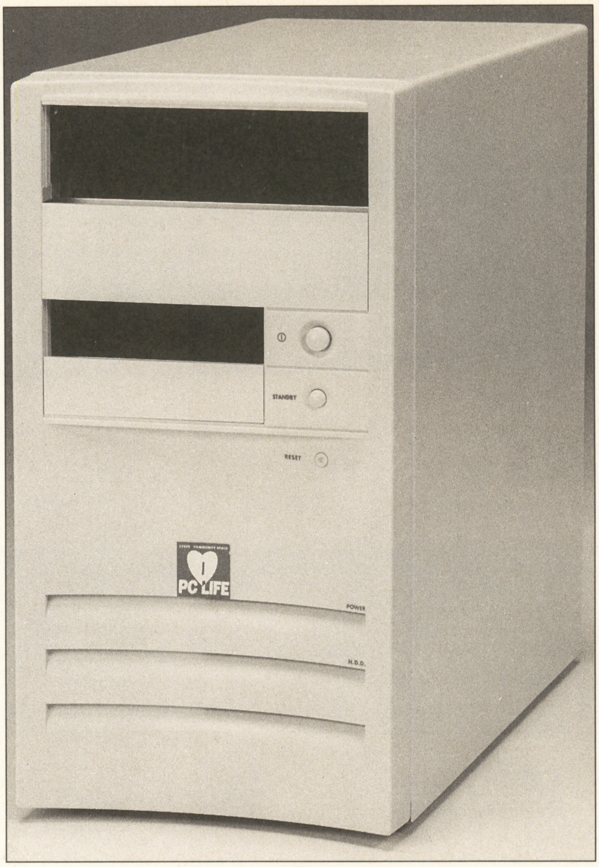
販売が強みです。また，PCライフならではの限定商品なども扱っていますので，インターネット環境のある人はぜひアクセスしてみてください。

アドレスは，http://www.life





《写真8》



《写真9》

styleshop.com/pc lifeです。広告も参照してください。

意外なところで使われている部品が！

マザーボードなどがちょっと変わってみえるかもしれませんが，実際は非常によく使われている部品が載っています。例えば，サウンドチップの3D Sound Proは，低価格でデジタル入力を装備できるサウンドカードとして人気のある「ART-833-3D」に搭載されているのと同じものです。

このマシンがどんなパフォーマンスを出してくれるのかとても楽しみです。次回にご期待ください。

●掲載商品のお問い合わせ **0255-74-2438**
●ご注文フリーダイアル **0120-386-686**
●ご注文・お問合せFAX **0255-74-2439**
●ユニテク電子ホームページ http://www.iijnet.or.jp/unitec/ (最新情報掲載中)
●ご注文・お問合せEメール unitec@po.iijnet.or.jp

●最新情報はFAX情報サービスをご利用ください
03-3257-6058/0255-74-4537
(総合案内は0と#を押すと取り出せます)
ホームページでも最新情報が参照できます。

小型デスクトップパソコン 使用目的で選べます。

FAX BOX No.1209#

Esprit Do/200 MS-DOS 6.2/V環境

本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×110mm(H)

DOS使用を前提にした動作環境で、マイコンシステム開発や計測など幅広い目的に使用できます。

- AT230W 小型デスクトップ
- Intel PentiumMMX200MHz
- 3.5インチFDD
- 109日本語キーボード
- SiS5596チップセット
- EDO32MB[16MBx2]
- ISA×1、ISA/PCI×3
- シェアードメモリビデオ
- 2.1GB E-IDE
- MS-DOS 6.2/V

MS-DOS/V付き **¥96,800**
MS-DOS/V無し **¥89,800**

Esprit Smallシリーズ Windows95搭載

本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×110mm(H)

省スペースパソコンとして、あるいはセカンドマシンとして使ってもコンパクトなため場所をとりません。

- AT230W 小型デスクトップ
- EDO64MB[32MBx2]
- 3.5インチFDD
- Windows98
- SiS5596チップセット
- 2.1GB E-IDE
- SB16互換サウンド
- 109日本語キーボード
- シェアードメモリビデオ
- CD-ROM 24倍速
- ISA×1、ISA/PCI×3
- PS/2マウス

PentiumMMX 200MHz搭載 **¥116,000**
PentiumMMX 233MHz搭載 **¥121,000**

Esprit LAN Smallシリーズ 100/10Base-T LANチップ搭載

LAN標準搭載の省スペースパソコン。

本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×110mm(H)

- AT230W 小型デスクトップ
- EDO64MB[32MBx2]
- 3.5インチFDD
- 100 /10Base-T LAN
- Windows98
- SiS5598チップセット
- 2.1GB E-IDE
- SB16互換サウンド
- 109日本語キーボード
- シェアードメモリビデオ
- CD-ROM 24倍速
- ISA×1、ISA/PCI×3
- PS/2マウス

PentiumMMX 200MHz搭載 **¥118,000**
PentiumMMX 233MHz搭載 **¥123,000**

Esprit Slimシリーズ 100/10Base-T LANチップ搭載

LNA標準搭載なので、クライアントマシンとして最適な薄型パソコン。

本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×80mm(H)

- AT230W 薄型デスクトップ
- EDO64MB[32MBx2]
- 3.5インチFDD
- 100 /10Base-T LAN
- Windows98
- SiS5598チップセット
- 2.1GB E-IDE
- SB16互換サウンド
- 109日本語キーボード
- シェアードメモリビデオ
- CD-ROM 20倍速薄型
- ISA/PCI×2
- PS/2マウス

PentiumMMX 200MHz搭載 **¥122,000**
PentiumMMX 233MHz搭載 **¥127,000**

小型ベアボーンセット Esprit Frame 使い方自由自在。

Smallタイプ

ケース,電源,マザーボードのセット
※スタンダードタイプ
本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×110mm(H)
Pentium200MHz, MMX233MHz 対応

- AT230W 小型デスクトップ
- SiS5596チップセット
- シェアードメモリビデオ
- SIMMソケット×2
- シリアル×2、パラレル×1
- 3.5インチベイ(外部×1、内部×1)
- 5インチベイ×1
- ISA×1、ISA/PCI×3

¥44,800

Smallタイプ LAN付き

ケース,電源,マザーボードのセット
Pentium200MHz, MMX233MHz
IDT C6-200MHz
AMD K6-2 PR300
Cyrix 6x86MX PR200
対応
本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×110mm(H)

- AT230W 小型デスクトップ
- SiS5598チップセット
- シェアードメモリビデオ
- SIMMソケット×2
- シリアル×2、パラレル×1
- 3.5インチベイ(外部×1、内部×1)
- 5インチベイ×1
- ISA×1、ISA/PCI×3
- 100 /10Base-T LAN

¥48,000

Slimタイプ LAN付き

ケース,電源,マザー,CD-ROM,FDDのセット
Pentium200MHz, MMX233MHz
IDT C6-200MHz
AMD K6-2 PR300
Cyrix 6x86MX PR200
対応
本体寸法: 340mm(L)×320mm(W)×80mm(H)

- AT230W 薄型デスクトップ
- SiS5598チップセット
- シェアードメモリビデオ
- SIMMソケット×2
- シリアル×2、パラレル×1
- CD-ROM 20倍速薄型
- 3.5インチFDD
- HDDベイ×1
- ISA/PCI×2
- 100 /10Base-T LAN

※CD-ROMやFDD無しの販売はしておりません。

¥58,000

DOS/Vアップグレード

486やPentiumパソコンが姿を変えて生まれかわります

Pentium Upgrade計画 (ATXマザーボード使用)

FAX BOX No.2300#

486CPU→最新システムへのアップグレード
遅いPentium→最新システムへのアップグレード

アップグレード用ベアボーンセット(パーツは組み込み・調整で出荷します)

全タイプ共通使用ケース
ATXミドルタワーケース、230W ATX電源付き
5インチベイ×3、3.5インチベイ(外×2,内×3)

※ このセットで使用しているケースは全てサイドパネルタイプですので、組立て、メンテナンスがとても簡単です。

セット内容
○ ATXタワーケース
○ マザーボード
○ 組み立て説明書
○ 各種必要部品

アップグレードした快適な環境でWindows98を使ってみませんか?

Pentium Upgrade計画セット一式

●Socket7シリーズ
Pentium TXタイプ **¥32,000**
SiS5591 AGPタイプ **¥35,000**
VIA MVP3 AGPタイプ **¥35,000**

●Slot1シリーズ
Pentium II LXタイプ **¥39,000**
Pentium II BXタイプ **¥41,000**

今まで集めてきたパーツを極力利用して最大限のアップグレードが行えます。

※ セットにはビデオカードが含まれておりませんが、+¥5,000にてS3 ViRGE/DX2MB PCIを付属します。

LAN接続用超小型プリントサーバ

FAX BOX No.3110#

プリンタ本体をそのままプリントサーバにします。

- パソコン1台に複数のプリンタを接続しても切り替え不要の上、各プリンタに異なる印刷を同時に行えます。
- プリントスプール用のパソコンが不要なため、LANケーブル配線だけで安価にしかも簡単に遠方へのプリンタ出力が可能です。
- 省電力モード搭載ですから、常に電源オン状態で、即印刷が可能です。
- プリンタケーブルのコネクタ部分と同じ大きさですので、場所を必要としません。

レーザプリンタやドットプリンタ、インクジェットカラープリンタにも対応。
ネットワーク上で簡単にカラー印刷が可能です。
動作確認インクジェットプリンタ PM750C, PM700C, MJ930C, BJC600J等
Windows95あるいはNT4.0の専用プリンタドライバを使用しているプリンタで、なおかつネットワークに対応しているプリンタであれば問題なく使用できます(Windows3.1とドライバが共用となっているプリンタでは動作しません)。

IPX/SPX専用タイプ ZOT515S

Windows95/98/NT4.0専用
IPX/SPX互換プロトコル使用

セット内容 ZOT515S本体、専用ACアダプタ、日本語取扱説明書、コントロールソフトウェア(Win95/NT4.0)

値下げしました **¥16,800**

NetBEUI対応タイプ ZOT525

Windows95/98・NT4.0・NetWare対応
NetBEUI または IPX/SPX使用

ZOT515Sとの同一ネットワーク上での共用も可能です。

セット内容 ZOT525本体、専用ACアダプタ、日本語取扱説明書、コントロールソフトウェア(Win95/NT4.0/NetWare)

新発売 **¥19,800**

SOHOプリントセレクタセット

FAX BOX No.3111#

複数のプリンタを切り替えなしで同時使用

レーザプリンタで文章を印刷しながら、インクジェットカラープリンタでグラフィックを印刷するということも可能です。ZOT515SあるいはZOT525を追加すればハブ1台で最大7台のプリンタを同時に使用することができます。
インストールや印刷では複数のプリンタをいっさい意識する必要はありません。
通常のプリンタセレクタと異なり、切り替え操作は全く不要です。

セット内容 ZOT515S 2台、10Base-T LANカード、10Base-T 8ポートハブ、LANケーブル(5m) 3本

¥53,000

LAN接続用小型インターネットアクセスサーバ

お持ちのTA、モデムにダイアルアップルータなみの機能を持たせることができます。

CA-300

Internet Access Server
FAX BOX No.3130#



1台のTA、モデムをネットワーク上で共用できるため、とても経済的です。
通常のインターネットアカウント1つでLAN全体がインターネットに接続されます。

設定はとても簡単。ネットワークに接続しているパソコンから専用のソフトで幾つかのパラメータを設定するだけ。クライアントの設定はほとんどありません。

セット内容
CA-300本体、専用ACアダプタ
コントロールソフト(CD-ROM)
日本語設定マニュアル

設定ソフトはWindows95,98,NT専用ですが、インターネット接続はTCP/IPをサポートするあらゆるマシンから可能です。

新発売 **¥24,800**

ネットワーク関連パーツ

●LANカード
10Base-T PCI ¥3,500
100Base-TX PCI ¥9,800

●10Base-Tハブ
8ポートミニハブ ¥9,800
5ポートミニハブ ¥8,400

その他LANケーブルなど取り扱っております。 FAX BOX No.3111#

486パソコンCPUアップグレード

AMD X5-133特殊変換アダプターセット

FAX BOX No.2500#

CPU交換でPentium75MHz相当にアップグレードします。
※対応機種についてはFAX情報サービスあるいはインターネットホームページを参照してください。

¥17,500

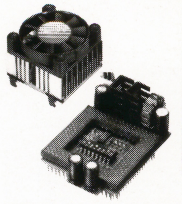
Pentiumパソコンの CPU交換で簡単アップグレード

Pentium高速化アダプタシリーズ

MMX非対応のマシンでPentiumMMX CPUを動作させることができます。 FAX BOX No.2310#

UG/MMX

ソケット5あるいはソケット7搭載のPentium対応パソコンで、より高速なCPUを動作させることが可能になります。
※マザーボードによっては対応できないCPUもあります。



UG/MMX仕様
対応CPU Intel Pentium(MMX)、AMD K5、K6、Cyrix 6x86MX、M2、IDT WinChip C6
倍率設定 2.0、2.5、3.0、3.5、4.0、4.5、5.0、5.5倍
電圧設定 3.3V、3.2V、2.9V、2.8V、2.2V
セット内容
アダプタ本体、専用空冷ファン、取り付け・設定説明書

UG/MMX価格 **¥11,000**

※マザーボードによってはIntel CPU以外のCPUが動作しない場合があります。

UG/MMX C6

※ 倍率3倍固定ですので、60MHzの場合は動作速度は180MHz動作になります。

CPUをただ交換するだけで、あなたのパソコンが高速化します。しかもMMX対応ですので、ゲームにも最適です。もちろんCPU付きですので、買ってすぐ使えます。

セット内容
本体(アダプタ、CPU、ファン)
取り付け説明書



ソケット5あるいはソケット7搭載でMMX非対応の機種でアップグレードできます。 ※ 動作確認機種についてはユニテク電子ホームページを参照してください。

DOS/V機、NEC PC9821(含薄型CanBe)に対応
薄型(高さ33mm)ですので、背の低いケースにも入ります。

使用CPU : IDT Winchip C6 200MHz
※ ご注文の際にタイプを必ず明記してください。

Aタイプ : 60MHz, 66MHz専用
Bタイプ : 50MHz専用

200MHzのCPUが付いてこの価格

UG/MMX C6価格
Aタイプ
Bタイプ **¥18,000**

UG/MMX2

CPU温度センサ搭載
熱暴走・熱破壊を防止

UG/MMXの性能を受け継ぎ、CPU温度センサ、フレキシブル電圧設定を搭載して動作安定性が向上しました。

UG/MMX2仕様
対応CPU Intel Pentium、PentiumMMX、IDT C6、AMD K5、K6、Cyrix 6x86L、6x86MX
ベースクロックにより設定できるクロックが異なります。
倍率設定 2.0、2.5、3.0、3.5、4.0、4.5、5.0、5.5倍
電圧設定 3.5V～1.6V (0.1V刻みの設定)
その他 CPU温度センサ搭載
セット内容
アダプタ本体、専用空冷ファン、取り付け・設定説明書

3.5V～1.6Vの範囲で0.1V単位の電圧設定が可能なため、あらゆるCPUにそのまま対応させることができます。
また、CPU温度センサ搭載でCPUを熱暴走や熱破壊から守ります。

ソケット5あるいはソケット7搭載のPentium対応パソコンで、より高速なCPUを動作させることが可能になります。※マザーボードによっては対応できないCPUもあります。

新発売 UG/MMX2価格 **¥13,800**

●商品の価格は、すべて税抜き価格です。ご購入の際に消費税が加算されます。なお、送料や加工費用等は価格に含まれておりません。
●商品のご注文・お問い合わせ等はシステム事業部までご連絡ください。パソコンの組み立て・アップグレードなどあらゆるニーズに専門技術者が対応いたします。

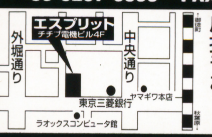
ユニテク電子株式会社

新潟本社 〒949-2304 新潟県中頚城郡中郷村二本木886-2
☎0255-74-4124 FAX 0255-74-2439
システム事業部 ☎0255-74-2438 FAX 0255-74-2439

《お支払い方法》お振込・代引き・現金書留・分割ローン・法人リースを取り扱っております。
《お振込口座番号》北越銀行 新井支店 普0086480
口座名:ユニテク電子株式会社
・商品発送は原則的に入金確認後です。
また、振込手数料はお客様負担となります。

※ 全国通信販売行っております。 ご注文はお電話・FAX・Eメール:unitec@po.iijnet.or.jp で受けたまわっております。

ユニテク電子株式会社 秋葉原直販店
エスプリット
03-3257-6056 FAX 03-3257-6057



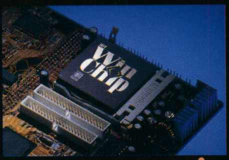
店舗では取り扱い商品のデモ等も行っております。

弊社は9月1日をもちまして社名を「ユニテク電子株式会社」から「株式会社ラステーム」に変更いたします。また、秋葉原直販店「エスプリット」も「ラスプリート」に変更いたします。但し、新潟本社・直販店の住所、電話・FAX番号、Eメールアドレスはそのまま一切変更はありません。今後とも変わらぬご愛顧をよろしくお願いいたします。

選ぶならWinChip!

Socket7 インターフェース採用

インテルMMX Pentiumマイクロプロセッサと完全ピン互換の、296ピンCPGA Socket7パッケージ採用。業界標準とも言えるSocket7対応で、安価にマシンを組みたい方や現在古いCPUをお使いの方にIDT WinChip C6™は容易にスピードアップをご提供できます。また、次世代のWinChip2/2-3Dでは100MHzバス及び3DNow!™をサポート。



Super7™ 3DNow!™ 対応!

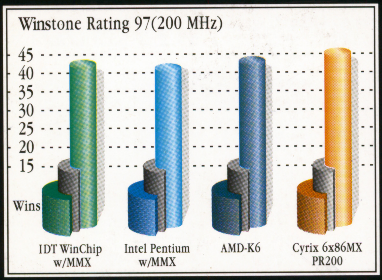


抜群のコストパフォーマンス!

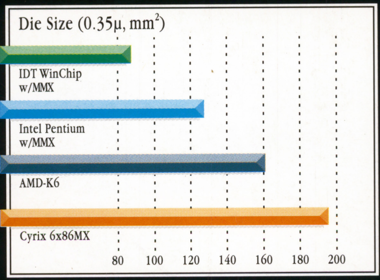
独自の設計思想に基づいたRISCアーキテクチャを採用することにより、ダイサイズを通常のCPUより30〜60パーセント小さくすることに成功（88mm²）。さらに単純なCMOS製造プロセスとの組み合わせにることで、ウエハー1枚当たりの歩留まりを大幅に高めました。これらの技術より、他社のCPUと同等のパフォーマンスを発揮しつつ、より低価格を実現しました。

しかも低消費電力!

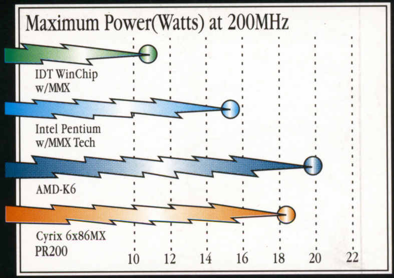
ダイサイズを小型化することなどにより、大幅に消費電力のカットに成功。まさにIDT WinChip C6™は「経済CPU」と呼ぶにふさわしいCPUなのです。さらにIDT WinChip C6™は、この「低消費電力」を3.3Vもしくは3.52Vの単一電源にて実現。つまり将来、2電源方式にすることにより、さらに低消費電力化できる余地を持っていると言えるのです!



低価格なのに他社CPUにまったくひけを取らないパフォーマンス!



ダイサイズを30〜60パーセント小型化! 歩留まりアップで低価格を実現!



他社CPUよりはるかに低い消費電力! 「経済CPU」の面目躍如!

㊢クーポンを切り取ってTWO TOPへ急げ

Designed for Microsoft Windows 95

日本IDT株式会社
〒102 東京都千代田区三番町6番26号
住友不動産三番町ビル
営業部 TEL.03-3221-9822 FAX.03-3221-9824
詳しくはhttp://www.idt.co.jp

販売代理店

Master Distributor
ダイヤセミコンシステムズ株式会社
横浜 TEL.045-476-7410 大阪 TEL.06-389-0877
Approved Distributor
亜土電子工業株式会社
第一営業部 菊池—TEL.03-3257-6663
ソフトバンク株式会社
Win Chipのお求めは、お近くのパソコン・パーツ取り扱い店へどうぞ。

キリトリ線

TWO TOP

Win Chip C6 200/240MHzとKapok 1100NotePCセット販売クーポン

業界初のKapok社のSooket7ベースのアップグレーダブル・ノートPCとMMXテクノロジーPentium™互換マイクロプロセッサWinChip C6をセットにして販売。

C6 200MHz搭載版の場合は、CPUはプレゼント。
C6 240MHz搭載版の場合は、プラス4,000円で提供。

Kapok1100SC6200	12.1インチSVGA	148,000円
Kapok1100XC6200	13.3インチXGA	178,000円
Kapok1100SC6240	12.1インチSVGA	152,000円
Kapok1100XC6240	13.3インチXGA	182,000円

Win Chip C6 225MHzと100MHzバス対応マザーボードセット販売クーポン

MMXテクノロジーPentiumTM互換マイクロプロセッサWinChip C6 225MHzと今が旬の100MHzバス対応のマザーボード（以下のいずれかと）をセットにして2,000円引きで提供。

ASUS:P5A TMC:TI5VG+
MSI :MS-5169 FIC :PA-2013 など

※クーポン有効期限:1998年9月7日まで

上記セットはTwo Top（ツートップ）全店で購入可能です。尚、各マザーボードの仕様等に関しては、Two Top（ツートップ）各店店頭にてご確認下さい。


1999年10月1日発行
マイコンBASICマガジン9月号別冊付録 コンピュータ・ミュージックマガジン
マイコンBASICマガジン10月号別冊付録 コンピュータ・ミュージックマガジン
マイコンBASICマガジン1月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン2月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン4月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン8月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン9月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン10月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン11月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン9月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン2月号別冊付録：DOS/V製作
マイコンBASICマガジン3月号別冊付録：DOS/V製作
電波新聞社